



2015年9月のロータリーレートは1ドル=124円

2016年 地区大会は10.22(土) 23(日) 南砺RC



「Be a gift to the world」世界へのプレゼントになろう

2015～16 K.R. “ラビ” ラビンドラン RI 会長

「ロータリーを楽しむ」

国際ロータリー第2610地区2015-16年度ガバナー柳生 好春

「楽しく活気のあるクラブを目指して」 金沢百万石 RC 会長

魏賢任



柳生好春ガバナー



例会便り

第810回

オープンロータリー

2015.11.19(木) 19:00

フラワーガーデン

例会出席者 22/42 52.38%

10月の平均出席率 70.98%

受付・ウエルカムティードリンク

オープニングムービー

点 鐘

1. ロータリーソング 『奉仕の理想』
2. 四つのテスト
3. 開会挨拶 会長 魏 賢任

ゲストの皆様、ようこそオープンロータリーにお越し
いただきまして心より感謝いたします。今ほども



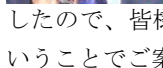
金沢百万石RCの18年間の歴史を画像で見させていただきました。私自身入会して16年目ですが、色々な体験・勉強をさせていただき未熟ですが今年度会長を拝命させていただきました。ロータリーのおかげでロータリーと共に成長させていただいています。こちらの壁面にもご紹介しておりますが、金沢百万石ロータリークラブが世界のたくさんのロータリークラブと交流・ふれあい・共同事業をさせていただき、国際奉仕事業にも取り組んでおります。”奉仕”と”友情”という両輪が楽しく負担にならないような形で機能しています。通常は木曜の夜にホテル日航にて開催される例会ですが、今日は特別おめでたい会場にゲストの皆様をお迎えして、短い時間ですがたっぷり体験していただき、このひとときを共有したいと思っております。そして、この会をいいなあ・人生をエンジョイしたいなあと思われましたら、是非仲間になっていただきたいと思います。



4. 幹事報告・委員会報告



【幹事報告】大路孝之幹事：先週の例会でもご案内いたしましたが、来週の例会は「招龍亭」で行いますので、お間違いのないようお願いいたします。



【委員会報告】谷会員：社会奉仕委員よりお知らせいたします。来週は社会奉仕フォーラムと飛騨高山から岡田賛三様という飛騨産業の社長さんにお越しいただき卓話をしていただくことになっています。9/5に地区で開催した講演会でも大変好評で、魏会長からも是非よんでくださいということで、私がお招きいたしましたので、皆様よろしくお願いたします。本日クラブの社会奉仕委員長の永原会員がご欠席ということでご案内させていただきました。

5. ニコニコBOX ¥15,000- 本年度¥327,000- 残高¥ 5,420,074-

魏賢任会長：皆さまこんばんは。ゲストの皆さま、私とも百万石ロータリークラブのオープンロータリーにご参加



いただき、ありがとうございます。おおいに楽しんで下さい。

大路孝之幹事：ゲストの皆様、ようこそおいで下さいました。楽しんでいって下さい。

井口千夏会員：ゲストの皆様本日はようこそ百万石へ。オープンロータリー楽しんで下さい。

上杉輝子会員：オープンR 楽しみにしておりました。ゲストの皆様にも楽しんで頂けると嬉しいです。

川きみよ会員：おかげ様で金沢マラソン5時間44分で完走できました。ゴールにて手違いで北山吉明先生と会えなかったのが唯一の心残りです。

北山吉明会員：ゲストの皆様、本日はようこそ我がクラブへ。どうぞゆっくりお過ごし下さい。

藤間勘菊会員：宮さん、ようこそおまちいたしてました。

東海林也令子会員：今日母が「かなざわ歯ッピー長寿8020賞」で表彰していただきました。89歳で27本の自分の歯を持っていますので、10名の受賞者が山野市長から賞状と記念品をいただきました。

村田祐一会員：オープンロータリーようこそ、11月29日の福島取材報告へもお運び下さい。

《 食 事 》 ビュッフェスタイル&ドリンクフリー

6. 委員会代表者による卓話 並びに 同伴者のご紹介

[委員会代表者]

クラブ運営委員会 稲山訓央副委員長：私の父はライオンズで母がロータリアンという家庭で育ちまして、両方の良いところを知っているのではないかと思います。ロータリークラブの素晴らしいところは、週1回の例会、大変な義務でもありますがお互い顔を合わせてこういう人がいるということを知ることが大きいと思います。それと語弊があるかもしれませんが、お金持ちの親睦団体ではないというところに良さがあると思います。それぞれの職業を持っている人達が職業倫理のもとに善行を通じて社会全体をよくするシステムが非常にわかりやすく良いと思います。



奉仕プロジェクト委員会 川きみよ副委員長：仕事の関係で例会に出席できない時には時間を見つけて他のクラブへメーキャップさせていただくのですが、それぞれのクラブの良さがある中で金沢百万石RCは特別だなあと感じます。他クラブからのメーキャップを受け入れる時のあたたかさがあり、ようこそようこそという迎える姿勢や気持ちを会員の誰もが持っていて当たり前という意識が素晴らしいと思います。

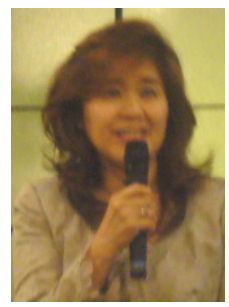
会員組織委員会 井口千夏副委員長：先ほど魏会長が”奉仕”と”友情”が車の両輪と言われましたが、ゴルフコンペや飲み会や温泉旅行というようなたくさんの友情を深める事業が行われます。富山・石川の2610地区には65クラブありますが、その中で一番活気があるクラブではないかと思います。ようこそ、百万石へ。お待ちしております。どうぞ最後まで楽しんでください。



広報委員会 藤間勘菊委員長：今日はあれこれ忙しくて、今ようやくホッとしております。毎年9月のパイロットウォークイベントでは県庁周辺を歩きまして、こちらの会場は素敵な建物だなあと以前から思っておりました。ここで少しパイロットクラブからのご案内をさせていただきますと、12月にチャリティコンサートを開催いたします。さて、この金沢百万石RCはアットホームで是非ともお入りいただけたらと思います。皆さまよろしく願いいたします。



[同伴者(11名)ご紹介]





・山田礼二様、宮野晃様を魏会長よりご紹介。
 ・岡田宜之様を大路幹事よりご紹介。
 ・宮もと子様、竹原慶子様を上杉会員よりご紹介。また上



杉幸代様、上杉廉さんがゲスト及びピアノ演奏で参加。
 ・志村 恵様、太田 豊様、深山貴裕様を表会員よりご紹介。
 ・玉城 大さんを稲山会員よりご紹介。

7. オープンロータリーコンサート

(1) 小舞 表靖子会員、 笛伴奏 太田豊(雅楽奏者) 東京芸大卒、北陸新幹線高岡駅の発車音楽の作曲家

「桜川」 能、桜川「網の段」の中の一節。行方知れずとなった子を物狂(ものぐるい)となり、捜し歩く母の姿。



(2) 謡と鼓 江守 巧会員、江守道子会員
 「胡蝶」

(3) ピアノ独奏 上杉廉 (上杉輝子会員のお孫さん) ショパン
 作曲「ポロネーズ ニ短調 op71-1」



(4) 独唱 稲山訓央会員
 ギター伴奏 玉城 大(たまきまさる) 北陸大学未来創造学部
 「天然色の化石」 さだまさし作詞・曲
 「平和の祈り」 稲山訓央作詞・曲

(5) 篠笛独奏 村田祐一会員
 「四季の歌」ほか



(6) 独唱 北山吉明会員
 ピアノ伴奏 上杉廉

「栄光の架け橋」北川悠仁作詞・曲
 「ゆず」の名曲に挑戦。





8. ロータリーソング 『 手に手つないで 』

9. 閉会挨拶 会長エレクト 若狭 豊



点 鐘

パストガバナーからの手紙 243回 2015.11.26

「命のビザの真実」 炭谷 亮一

今年の8月末に、東京で二年前に、外務省を退官した友人と会食した。

話題が第二次世界大戦中のリトアニアのカウナスで、ドイツの迫害から逃れて来たポーランド在住の約6000人のユダヤ難民に日本へのトランジェットビザを発給し、命を救った外交官杉原千畝（1900年～1986年）に及んだ。

杉原の人道的業績を称え、リトアニアには Sugihara St.と命名された道路が存在し又この8月にはリトアニアのカウナス（この地で戦前の1939年から41年まで領事代理を務めた）で彼の業績を顕彰して記念プレートの除幕式が行われた。

私は友人に杉原は日本のシンドラーと称されており、確かに6000人のユダヤ難民を救った功績は大だが本省の訓令に逆らってビザを発給したなどありえないことで、外務省は表向きはドイツに気を使ってビザ発給せずの方針を装ったが、心底ではナチスドイツのユダヤ人迫害を心良く思っておらず、秘密の訓電ではドイツ政府特にゲシュタポの動向に注意して短期間に大量にビザ発給を可とするそののち直ちにカウナスを撤収してベルリンへ向かうべしとの裏訓令が存在したと考えるのが妥当だと思うがどうかの問いに？「もちろんですよ 炭谷さん、日本政府が杉原トランジェットビザの無効を宣言すれば、ユダヤ難民の入国を拒否出来る訳ですから」と更に友人は「外務省の訓令並びに公文書資料館にはこの要件に関するものは、ほとんど存在せずおそらく闇から闇へ葬り去られたのではないだろうか」と。そして続けて「この種の案件はすべて杉原さんに帰する」つまり戦後世界中の人が知ることとなっても日本国は一切関知せず杉原さん一人の手柄となり又運が悪ければ売国行為と非難される場合もある」と。更に私は杉原は日本のシンドラーと称されているが、たしかに6000人のユダヤ難民を救った功績は大変大きいですが、彼はハルピン学院の、優秀な卒業生であり、そんな甘いものではなく、凄腕のインテリジェント・オフィサー（情報部員）だったのではとの問いに？

友人は「その通りです。杉原さんは外務省でNo.1と言われる程ロシア語に堪能でリトアニアの後にソ連大使館へ転出のはずだったがソ連政府から“ペルソナ・ノン・グラータ”外交官待遇拒否として信認されず、杉原さんはやむなくベルリンの日本大使館に着任し、最後は終戦をルーマニアのブカレストで迎えたはずだ」と。

更に続けて「ルーマニアには油田があるので、第1次・第2次世界大戦ではドイツはまずルーマニアを狙った。だからルーマニアはヨーロッパの情報センターの様になっていて、ソ連情報を収集する上で重要な場所だ」と。つづけて「杉原さんと言う外交官は、常にロシア周辺にいて、キナ臭い情報の世界を渡り歩いたプロ中のプロだった」と。友人はやや語気を強めて「ユダヤ難民を6000人も救ったのだから当然アメリカのユダヤロビーは知り抜いていたはずだから、戦後GHQとの交渉に外務省は杉原さんを放逐することなく、交渉の前面に杉原さんを推したてれば、すべての難題も容易に有利に進んだと思われるが、杉原さんはキャリア組ではなかった為に、三段跳びで大抜擢する柔軟な発想が出来なかったことが残念でならない」と話していた。

戦前は杉原の様な肝のすわったインテリジェント・オフィサーが多々いたんでしょうねと尋ねると？友人は「情報の世界は表に出ないのが常態であり、杉原さんの場合は特別であり、インテリジェントの組織力としては戦前も戦後も何んら変化はない、現在は外務省・防衛省・警察庁等の情報収集・分析能力は他国に劣っている様に思われているかも知れないが、とんでもない間違いで、世界でも1級だ」と断言していた。「その上日本には世界に類を見ない総合商社があり、彼らは世界中いや地の果てまで行って商売貿易を行っている、現地、現場で見聞きした生きた情報を外務省は瞬時に逐一提供をうけている」と。「逆に外務省でも彼らの必要な情報は提供している」と。更に続けて「日本にはスパイ防止法がない為に東京は世界のスパイ天国、情報収集センターの様な様相を呈しているが、逆に言えば適性外国人とも容易にコンタクト出来、逆手にとって日本が情報収集するチャンスもある」とのことだった。さて私は本題に戻って、杉原がユダヤ難民に与えたトランジェットビザだけ持って果たして日本へたどり着

くことが出来るか友人に疑問をぶつけてみると、友人は「炭谷さんさすがだね！！博学だねえ！！彼らがシベリアを横断してハバロフスクから客船で日本に行き、トランジェットしてアメリカ・オーストラリア等の第三国に到着するのは獅子奮迅の働きをして助けた、数名の尊い日本人の存在があった」と。

友人は何んと私が目をまるくして驚く話を次に述べた。それは「炭谷さん、実は今年の12月5日に東宝系の映画館で“杉原千畝スギハラチウネ”のタイトル映画が公開される」と。そして「私は退官後に映画関係の知人にこわれて脚本にアドバイスをしたので、尊い行為の日本人達の詳細はスクリーンを見て理解してほしい」と“ええ”まいったなあと友人の顔をまじまじながめたが友人はただほほえんでいるだけだった。

友人は別れ際に「炭谷さん映画と言うものは所詮フィクションですよ、杉原千畝を英雄に仕立てあげなくてはストーリーが成り立ちませんからね」とポツリと呟いた。

その後私自身友人の言葉が気になって、約10冊位いの杉原に関する書籍を読んで、やっと真実を知ることが出来た、杉原は戦前外務省の訓令に背いて、ユダヤ難民に日本のトランジェットビザを発給したおかげで、6千人のユダヤ人が生き延びることが出来たが、杉原は帰国後訓令違反によって終戦直後、外務省を解雇されたというのが映画のストーリーである。ところが私が読破した上記の本の中に真実は存在した。

当時の日本の外務省の杉原宛訓令電報では、日本通過ビザ発給には最終目的地（たとえば米国）の入国ビザを持っていることと、最終目的地までの生活費を保持していることのこの二点がビザ発給の条件だった。これらはトランジェットビザの性格上あたり前のよくある条件で、日本政府がビザ発給を拒否したわけではなかった。又杉原は戦後の占領下で外交事務が激減（対外公館閉鎖の為）したのに伴う人員整理の一環で1947年に退職し、退職金もその後の年金も支払われている。ビザ発給を理由に解雇されたわけではなかった。杉原はカウナス領事館閉鎖の後も順調に昇進し、1944年（戦中）には「日本政府から勲五等瑞宝章まで授与されている。

映画はまったくのフィクションではないが、杉原がある意味、自身の自由意思でビザ発給出来たのは日本政府の暗黙の了解があればこそその行動だったのである。

大戦が枢軸国側（日・独・伊）が勝利すれば杉原は売国奴として訴追・処罰の対象とされたろう。又連合国側が勝利すれば今日のように6000人のユダヤ難民を救った英雄として称賛を受ける対象となった。当時は外務省は杉原の自己責任であり帰趨については当局は何んらあずかり知らないとの態度だったのだろう。

1958年に杉原はイスラエルのホロコースト記念館から「諸国民の中の正義の人」と顕彰をうけておりこの「諸国民の中の正義の人」とは自らの生命の危険を冒してユダヤ人の命を救った人に与えられる賞であり、ビザ発給に日本政府の了解のもとに行われたとなれば顕彰に該当しなくなってしまう。

この美談の形成には杉原一族がユダヤ機関のたくみな誘導により関与させられ、大きな流れに乗ってしまった様だ、事実杉原未亡人は「六千人の命のビザ」（大正出版）という本を書いて、日本政府の訓令に背いてビザを出したという虚構に便乗したのが実情であり、以上が真実であった。

ユダヤ機関のプロパガンダの一環だったと考えるのが妥当だと考える。戦前戦後を通じて日本政府は反ユダヤであった事実は一切ないと言える。

ユダヤ機関のたくみな世論の誘導及び虚構を真実と思わせる所作など「うぶな日本人」をころっと騙すことなど朝メシ前だろう。アホな私は12月5日を心待ちにしている初日に「杉原千畝」の映画を見て感動を覚えようとしていた自分が恥ずかしい、68歳にもなってバカもいいところだ。ユダヤ資本が大量に投入された映画だと思って観賞することとする。

最後に日本は先の大戦中に政府の正式な決議でユダヤ人を入国させた唯一の国であったことを日本人もユダヤ機関も忘れてる様だ。

年忘れ例会のご案内

クラブ管理運営委員長 東海林 也令子

親睦委員長 武藤 清秀

1. 日 時 12月17日（木）19:00 開会（～ 21:30 頃）
2. 場 所 ホテル日航金沢 3F 「ルミエール」
3. 会 費 (1)会 員 6,000 (3)お子様（大人料理）6,000 円(4)お子様（子供料理）4,000 円
4. その他 (1)ホークションに出品される方は、別紙出品用紙を添付の上、当日品物をご持参下さい。なお時間の関係上、お一人一品限りの出品とさせていただきます。飲酒される方はお車の運転をご遠慮ください。

第5回日台ロータリー親善会議の御案内

2016.6.5（日）pm 1より石川県立音楽堂
コンサートホール

13:00～14:00 登録受け付け

14:00～15:20 会議 挨拶 活動報告

15:40～17:00 記念講演

田中作次 RI 元会長

黄其光 RI 直前会長

18:00～20:00 懇親会

百万石クラブとの合同例会を! 南光州 RC から

2016年ソウル国際大会に、みんなで参加しよう!



15-16 年度 3710 地区大会は 2016 年 5 月 28 日 - 6 月 1 日の 2016 ソウル国際大会会場である KINTEX (ソウル近郊の高陽市)

で 5 月 30 日 (月) に 南光州 RC と 金沢百万石 RC の合同例会を開催する予定です。

多くの方の出席をお願いいたします。

クラブ例会予定

11/19 19:00~「オープンロータリー」
 フラワーガーデン (県庁近く) 21:00
 11/26 於: 招龍亭「会場変更例会(オープンスタイル)
 並びに社会奉仕フォーラム」 20:30 飛驒産業 (株)
 代表取締役社長 岡田賛三様
 12/17 年忘れ例会 ホテル日航金沢
 2016 1/7(木) 18:30 新年合同 ホテル日航 4F
 5/30 (月) 南光州合同例会 (ソウル近郊高陽市)

2015 ~ 16 役員・理事・委員会

(役員) 会長: 魏 賢任 エル外: 若狭豊 副会長: 上杉輝子 幹事: 大路孝之 副幹事: 武藤清秀
 会計: 西村邦雄 直前会長 宮永満祐美

(理事) 東海林也令子 (クラブ管理運営委員長) 水野陽子 (奉仕プロジェクト委員長)
 金 沂秀 (会員組織委員長) 藤間勘菊 (広報委員長)

常任理事: 石丸幹夫 吉田昭生 木場紀子

理事会オブザーバー・アドバイザー: パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智 監査: 後出博敏
 (委員会)

クラブ管理運営委員長: 東海林也令子 副: 稲山訓央

親睦: ○武藤清秀 二木秀樹 川きみよ 金沂秀 杵屋喜三以満 後出博敏 大沼俊昭 相良光貞 高田重男
 辰己クミ 若狭豊 山崎正美 竹田敬一郎 表靖子 矢来生和 野村礼子

例会: (プログラム/出席) ○井口千夏 江守巧 宮永満祐美 水野陽子 吉田昭生

SAA: ○稲山訓央 西村邦雄 宍戸紀文 ニコニコ: ○布施美枝子 宍戸紀文

友好・クラブ細則: 細則 CLP 検討 ○江守巧 岩倉舟伊智 富山西 RC との交流 岩倉舟伊智 藤間勘菊 木場紀子

直前委員長: 二木秀樹

金沢北 RC との合同例会 ○二木秀樹 杵屋喜三以満

その他友好クラブとの交流 ○石丸幹夫 藤間勘菊 村田祐一 東海林也令子

奉仕プロジェクト委員長: 水野陽子 副: 川きみよ

職業: ○村田祐一 二木秀樹 井口千夏 若狭豊 永原源八郎 谷伊津子

社会 (新世代・青少年を含む): ○永原源八郎 北山吉明 東海林也令子 武藤清秀 谷伊津子

国際: ○炭谷亮一 世界社会奉仕 (R財団) ラオス支援 ○炭谷亮一 岩倉舟伊智 西村邦雄

描き損じハガキ ○江守道子 米山奨学会 ○藤間勘菊

青少年奉仕 ○上杉輝子 国際青少年交換 (日韓など) ○上杉輝子 金沂秀 吉田昭生

直前委員長: 北山吉明

会員組織委員長: 金沂秀 副: 井口千夏

会員増強: ○大路孝之 江守道子 石丸幹夫 岩倉舟伊智 野城 勲 宮永満祐美 炭谷亮一

永原源八郎 高田重男 修練 北山吉明 江守巧 石丸幹夫 木場紀子 直前委員長 金沂秀

広報委員会委員長: 藤間勘菊 副: 宍戸紀文 広報: ○上杉輝子 石丸幹夫 ロータリー情報: 宍戸紀文

藤間勘菊 布施美枝子 会報・ホームページ: 石丸幹夫 宍戸紀文 直前委員長 藤間勘菊

長期姉妹クラブ担当 韓国南光州: 金 石丸 岩倉 江守巧 東京世田谷中央: 炭谷 岩倉 石丸 藤間

京都北東: 炭谷 杵屋 水野 高崎: 石丸 村田 金沂秀 藤間 宮永

(地区委員) 諮問委員会委員 地区ガバナー氏名委員会委員、日台親善会議実行委員会顧問 R 米山記念奨学会委員会カウ
 ンセラー 炭谷亮一 社会奉仕委員会委員長 谷伊津子 危機管理委員会委員 石丸幹夫 広報委員会委員 藤間勘菊

日台親善会議実行委員会 宮永満祐美 R 米山奨学会委員会委員 (米山奨学金/学友会担当) 大路孝之

例会場 ホテル日航金沢 5F 〒 920-0853 金沢市本町 2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日 19:00

事務室 ライブ1ビル 2F 〒 920-0852 金沢市此花町 3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www17.ocn.ne.jp/~hrc/

事務局執務時間 月火水金 9:00 ~ 15:00 休憩時間 12:00 ~ 13:00 木 15:00 ~ 20:00

休日 (土日祝日) 事務局員 西村有里 幹事 大路孝之